

## 労災保険特別加入制度

### ○労災保険(労働者災害補償保険)特別加入申込の受付について

労災保険は、労働者の業務による災害に対して国が保険給付を行う制度であり、農業者も特別加入することができます。当JAにおいて、今年度の労災保険特別加入申込の受付を行います。給付基礎日額については、5,000～20,000円(1,000円単位)の範囲で選択することができます。

労災保険の概要については、以下の通りですが、詳しくは、下記までお問い合わせください。

#### 【各タイプの保険料】

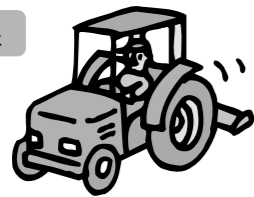
	給付基礎日額	年間保険料		給付基礎日額	年間保険料
特定農作業従事者	20,000円	65,700円	指定農業機械作業従事者	20,000円	21,900円
	10,000円	32,850円		10,000円	10,950円
	5,000円	16,425円		5,000円	5,475円

※年間保険料は、掛け捨てとなります。別途、事務手数料(1人目1,000円、同一家族で2人目以降500円)が必要になります。また、保険料は確定申告の「社会保険料控除」になります。

### 1 特定農作業従事者

- 加入資格**
- 経営面積2ha以上か、年間の農畜産物販売額が300万円以上
  - 地域営農集団(集落営農組織)、農事組合法人の構成農家(家族従事者含む)

#### 補償対象



- ・農機を使う作業
- ・2m以上の高所作業(40度以上の傾斜地での作業含む)



- ・農薬散布
- ・牛、馬、豚に接触する作業
- ・サイロなど酸素が欠乏する恐れがある場所での作業

### 2 指定農業機械作業従事者

- 加入資格** 農業者(労働者以外の家族従事者などを含む)
- 補償対象** 農作業でトラクター、コンバイン、刈り払い機などの農業機械を使う場合



- 加入要件等があります。詳しくは、下記までお問い合わせください。

申込期日：平成30年4月20日(金)まで  
お問い合わせ先：JAたんなん 東部ふれあいセンター内 営農生活課 担当：千田まで  
TEL.51-8004

## ○春の農作業安全確認運動実施中!!

～「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」～

農業就業人口が減少する中、全国で毎年約350件の農作業死亡事故が発生し続けています。その3/4が65歳以上の高齢者となっており、原因別では、農業機械作業に係るものが約7割を占め、その約半数が乗用型トラクターによるものとなっています。

農作業の際には、作業前の安全確認を忘れずに行い、余裕を持った作業を心がけましょう。また、炎天下での作業も多く熱中症にもかかりやすくなるので、体調管理に十分気を付けましょう。



## ○農作業で道路を汚さないように注意しましょう

トラクター、田植え機等の農機具を使用した農作業後に田や畑から公道へ出る際には、必ず土を落としてから走行するようにしましょう。通行の妨げになる場合もありますので、道路に土を落とした場合は、速やかに道路の清掃をしていただきますようお願いいたします。

## ○ハウス育苗(あきさかり・コシヒカリ)

～温度管理、水管理に注意して健全な苗をつくりましょう～

### 【育苗作業の目安】

品 種	浸種開始日	播 種 日	田 植 え 日
あきさかり	4月 7日(土)～4月 8日(日)	4月20日(金)	5月10日(木)
コシヒカリ	4月16日(月)～4月17日(火)	4月25日(水)	5月15日(火)

### 【浸種日数の目安】

水 温	日 数
10℃	10日間
12℃	8日間
15℃	7日間

### 【播種】

品 種	乾 粉	催 芽 粉
あきさかり	140g	175g
コシヒカリ	130～140g	165～175g



### 【ハウス管理のポイント】

播種後日数	育苗期	温度管理	作業管理のポイント
3日～5日	緑化期	ハウスの温度 日中:20℃～25℃ 夜間:10℃～15℃  ※日中はできるだけ25℃を越えないように換気する	①ハウスへの苗入れ ・苗入れは必ず出芽揃いを確認してから行ってください。 ・苗入れ後、覆土の表面が乾いている場合は、覆土が落ち着く程度灌水してください。 ・苗入れ後は直射日光を避け、「太陽シート」等の被覆資材で遮光しましょう。 ・緑化後(通常2～3日)は、速やかに被覆資材を取り除き、徒長苗防止につとめましょう。 ②苗入れ直後の高温に注意 ・焼け苗防止のため、必ず温度計を苗の高さに設置しましょう。 ※ハウス内の温度が25℃を超える場合、被覆資材があっても換気してください。
6日～10日	硬化期前半 1葉期まで	日中:25℃以下 夜間:10℃以上	③換気と灌水 ・晴天日は、午前9時頃でもハウス内の温度が30℃を超えますので、早めの換気を行ってください。 ・灌水は、午前中にたっぷりに行いましょう。(夕方以降の灌水は控える) ・徒長防止対策として、ハウスの裾を大きく開けると乾きやすくなるため、育苗期後半の晴天が続く場合の灌水は毎朝たっぷり行ってください。 ・田植えの4日前程度になったら、ハウスの腰を下ろし外気にならしてください。
11日～20日	硬化期後半		

※播種時期の違う苗を同じハウスで管理する場合、老化苗を放置したままにすると苗もち病の原因になるので注意しましょう。

### 【硬化期後半のハウスの換気方法】

【良い例】



【悪い例】

